

教 員 名	みやしろ たかし 宮城 孝
専門分野	地域福祉論
ゼミのテーマ	若者の視点から福祉社会の未来をデザインする — シンク・グローバル アクト・ローカル —
ゼミの内容	<p>わが国は2025年には高齢化率が30%を超すことが予測され、日本の歴史上、また世界でも経験したことがない少子・超高齢社会の到来を迎えます。そのような中で、家庭、地域、行政等様々な側面で今後の社会のあり方が問われています。</p> <p>本ゼミでは、このようなわが国の将来の変化を予測し、若者の視点から今後の福祉社会のあり様を探り、それらの課題と解決策を探ることをめざします。</p> <p>少子・超高齢社会の到来は、今後の若者の暮らしにどのような影響を与えるのか、どのようなことを考えていくべきか、また若者をめぐる様々な課題(引きこもり、子育て不安、子どもの貧困、ブラックバイト・企業問題など)についても対応策を検討していきます。</p> <p>そのために、わが国を国際比較的な視点から眺めることを目的とし、イギリスや北欧などのヨーロッパ諸国、アメリカ、韓国・中国などのアジア諸国の社会状況や児童・家庭福祉、障害者福祉、高齢者福祉の動向を探ります。(ちなみに韓国、中国、台湾、などでは日本以上のスピードで少子高齢化が進んでいます。)</p> <p>また、ゼミ生が関心のある分野の先進地域や NPO、ボランティア団体、社会福祉協議会などでのフィールドワークをとおして、より実践的な課題や解決策を探ります。</p> <p>これら専門ゼミⅠ・Ⅱで培った問題意識やそれらを探求する方法を活かして、ゼミ生の問題関心に応じてテーマを設定し、さらに体系的に考察を深めることをめざして専門ゼミⅢで卒業論文にまとめます。</p> <p>このようなゼミでの学習を通して、シンク・グローバル、アクト・ローカル(地球規模で考え、地域レベルで行動する)な思考法と行動力を養ってほしいと考えます。</p> <p>皆で協力し、楽しく創造性あふれるゼミにしたいと考えています。前向きで意欲あふれる学生の応募を待っています。</p>
次年度選考会 選抜方法	<p>レポートの内容と面接</p> <p>① あなたが本ゼミを希望する動機</p> <p>② 学びたい内容</p> <p>③ 自己アピール</p> <p>を1200字程度(A4、ワープロ使用)にまとめなさい。</p>